



No. 171

58

10

おもな
内容

- 人身事故が多発……………②③
- 明るい選挙啓発ポスターの審査……………③
- 幕末動乱期の記録見つかる……………④
- 少年の主張大会……………⑤
- 町内の工場見学をして—No. 2—…⑥
- まちかど……………⑧⑨

発行・岐阜県川辺町 ■ 編集・川辺町役場企画室 ■ 印刷・四橋印刷K K



平均年齢59歳
“オールド・キング”誕生

このほど、年配の人たちばかりを集めたソフトボールチーム“オールド・キング”が誕生、話題を呼んでいます。チーム最高齢でマネージャーである平川興助さん(74)＝中川辺＝が“若返ろう”と呼びかけ結成したもので部員は約20人、平均年齢は59歳です。いまのところ、一般男子チームには完敗しているものの女子チームとの成績はまずまず。スポーツの秋をむかえ、オールド・パワーの活躍が注目されます。

■ 人口の動き＝9月末(カッコ内は前月比) 総人口10,515(+12) 男5,186(+6) 女5,329(+6) 世帯数2,677戸(+6)

人身事故が多発

町内ではすでに27件

加茂署管内人身事故発生状況

9月5日現在

区分	件数	死者	傷者
市町村			
美濃加茂市	93	5	128
坂祝町	20	1	34
富加町	8	—	8
川辺町	27	1	31
七宗町	9	—	19
八百津町	12	—	18
白川町	17	4	24
東白川村	2	—	2
合計	188	11	264

町民の関連した事故は十九件

県下では今年に入って交通事故が多発。九月五日現在の死者数は百三十一人（昨年同期比二十三人増）と、過去五年間で最悪の年間死者数百九十五人を出した五十五年を上まわる勢いで増加しています。これからは行楽のシーズン、常に安全運転に心がけ秋の行楽期を楽しく過ごしましょう。

加茂署管内の人身事故も今年は急増、九月五日現在ですでに百八十八件（昨年同期比二十三人増）も事故が発生、十一人が死亡しています。

一方町内では、九月五日現在二十七件（昨年同期比九件増）の人身事故が発生、死者一人を出したほか、三十一人が重軽傷を

負っています。このうち町民が関係した事故は十九件と多く一人が死亡しています。

これらの事故の原因は、相変わらず基本的なルール無視が多く、前方不確認や信号無視、無理な追越し、一時停止違反——などによって多く発生しています。

最近の事故の特徴といえば、車対車の事故は多いものの、車対自転車あるいは歩行者などの事故が増えていることです。特

に道路を横断する時に多く起きている。

年齢別に被害状況を調べてみると、自転車ではお年寄りや一般女子、歩行者ではお年寄りや小学校低学年などいわゆる交通弱者の事故がめだっています。

事故発生時間帯では、薄暮時から夜間にかけて発生するケースが多く、仕事や行楽から帰宅する頃に多いと言えるでしょう。

交通死亡事故の抑止に総力

こうしたことを踏まえて町や警察では、交通死亡事故の抑止

に総力を挙げています。

今年は特にお年寄りなど交通弱者の事故が多いことから老人や子供に対する交通安全指導を進めるとともに①道路交通環境の点検整備②街頭指導の強化——なども積極的に進めています。

また、相変わらず若者の暴走運転や飲酒運転などによる事故が多いことから、悪質・危険な違反の取り締まり、暴走族の徹底的検挙、シートベルト着用運動の推進——なども進め、増えつつある交通事故に歯止めをかけようと真剣に取り組んでいます。

行楽の秋、無理のない計画で

さわやかな秋風に誘われて、野や山へと遠出の計画を立てる楽しい秋の行楽シーズンがやってきました。この季節には、マイカー利用のドライブや長距離旅行の機会も多くなり、交通事故の多発が予想されます。

旅行計画を立てるときは、事前に目的地までの道路状況や交通状況をよく検討し、時間的に無理のない走行計画を立て、常に安全運転を心がけてください。

▽車の点検整備は万全に出発前には、整備工場やガソ

リンスタンドなどでエンジンの調子、各種オイル、冷却水、バッテリー、タイヤの空気圧や減りぐあいなどの点検整備を実行してください。

▽シートベルトの着用を

シートベルトの着用は、万一事故にあったときにハンドルやフロントガラスなどに頭や胸を打ちつけるのを防ぎ、けがも軽くて済みます。また運転中体を安定させ、疲労も軽くなります。

自分を守るためにシートベル

トを正しく着用し、同乗者にも
かならず締めさせてから出発す
るようにしてください。

▽飲酒運転は絶対にしないさ
せない

ルを握らないということは、運
転する人の常識です。
「飲んだら運転しない」「運
転するときは飲まない」「飲ん
だ人には運転させない」の三原
則を守って、飲酒運転追放に協
力してください。

▽スピードは控えめに
運転者は制限速度を守ること
はもちろん、道路状況や交通の
流れにあった安全速度で走り、
雨や霧の日、夜間などは、スピ
ードを控えめに、事故防止
に努めてください。

また同乗者も、けっして無謀
なスピードを出すようあおった
り、すすめたりすることのない
ようにしてください。
▽休息は十分に
まばたきの回数が多くなった
り、生あくびがでたりするとき

は、疲れと眠気の前ぶれと考え、
早めに安全な場所へ車を止め
ひと休みしましょう。軽い体操
などをして体調を回復させ、さ
わやかな気分であらびハンド
ルを握るようにしたいものです。

力作がいっぱい

明るい選挙啓発ポスターの審査

特選に酒向さんら



寄せられたポスターを審査する町選管委員らと役場会議室で

明るい選挙啓発ポスターの審
査がこのほど、役場会議室で行
われました。

今回は、小学三年から中学三
年までの児童・生徒から千百四
十八点の力作が寄せられ、町選
挙管理委員と美術の先生らが慎
重に審査した結果、特選、入選
合わせて百四十点が選ばれまし
た。

特選、入選は次のみなさん。

(敬称略)

【特選】▽小学三年 酒向真

由美(西小) 小塚隆文(同) 後

藤美智子(同) 駒島亮宏(北小)

山田智香(東小) ▽小学四年

奥田恵美(西小) 岩井友香(同)

星野まみ(同) 木村衣里(北小)

西野紀子(東小) ▽小学五年

遠藤賢二(西小) 長瀬由香(同)

井戸克豪(同) 神田貴祐(北小)

馬場和志(東小) ▽小学六年

加藤奈緒美(西小) 清水耕人(同)

杉本憲子(同) 伊藤茂人女(北

小) 有本幸芳(東小) ▽中学一

年 加藤みのり、篠田大輔、林

千博、土谷早苗、渡辺博生 ▽中

学二年 高橋宏幸、桜井英樹、
鈴木民、加藤さゆり、野中誠人
▽中学三年 橋本由美、日下部
泰久、重本佳明、桜井信祐、石
原広道

【入選】▽小学三年 小藤秀

仁(西小) 神野奈穂子(同) 中島和

之(同) 南咲枝(同) 杉山尚久(同)

遠藤雄一(同) 中島純子(同) 則

武美夕紀(北小) 今井俊介(同)

鈴木真都(同) 武市晃可(同) 肥

田和与(東小) 馬場啓介(同) 山

内和明(同) 山田敏子(同) ▽小

学四年 幸村由紀(西小) 小栗千

治(同) 天池慶明(同) 座間ちは

る(同) 横田栄作(同) 水野優樹

(同) 鈴木友子(同) 有本利恵子

(北小) 佐伯恵美(同) 井戸政宏

(同) 岡崎美紀(東小) 高木里香

(同) 中島雅樹(同) 高井和孝(同)

山田りつ子(同) ▽小学五年

加藤典子(西小) 道家美香(同)

桜井直樹(同) 吉村崇宏(同)

日下部弘直(同) 井戸英俊(同)

山田理奈(同) 遠藤雅美(同)

赤塚健志(北小) 仙田泰人(同)

森みどり(同) 井上健一(東小)

河合裕(同) 神田昌宏(同) 加

藤昭彦(同) ▽小学六年 森雅

生(西小) 桜井宣明(同) 安渡

武志(同) 渡辺裕美子(同) 桜

井治代(同) 西村明理(同) 後

藤陽子(同) 有本ゆう(同) 日

下部智賀子(同) 熊田哲也(北

小) 野中茂紀(同) 大谷幸子(同)

小原修(東小) 山田伸二(同)

曾我保幸(同) ▽中学一年 遠

藤ちあき、岩井秀典、道家克哉、

山田尚之、長谷川孝、松野隆則、

井戸雅文、桑畑克朗、渡辺明美、

鳴崎博一、佐伯美季、関喬人、

桜井好美、日下部友行、林正和、

▽中学二年 桜井小由里、高木

郁子、加藤雅子、遠藤佳子、大

谷重光、横山紀子、加藤真由美、

関伽井史子、長瀬和恵、土谷か

おる、渡辺勝司、井戸純子、遠

藤詔子、吉田茂、則武理香、▽

中学三年 高木みゆき、長谷川

いく子、紅谷仁美、井戸雅樹、

後藤裕子、松口利一、笹川誠志、

垣下卓也、清水駒子、佐伯拓哉、

桜井弘美、松宮照光、井戸敦子、

紅谷哲央、平岡美香

幕末の様子が克明に

中川 辺の 矢嶋さん宅 家財の中から記録帳見つかる

七年間が七冊に

幕末動乱期から明治維新に至るまでの川辺村などの様子が克明に書かれた記録帳がこのほど矢嶋弓男さん(六〇)宅Ⅱ中川辺Ⅱで見つかりました。この記録帳は同家が家屋を改築する際、整理中の家財の中から見つかったもので幕末の不安定な時期を乗り切った川辺の人たちの生活を知るうえで貴重な手がかりになっています。

矢嶋家は、十五代も続いている旧家で、江戸時代は代々庄屋を務め、特に当地方を支配した旗本大嶋氏とは関係も深く、当主が時代の移り変わりを、そのつど記録し、それが現在に伝わったものです。

記録は、文久四年(一八六四)から、明治三年(一八七〇)までの七年間で、一年間当たり平均二百ページで七冊に分かれ、日記風に書かれています。主な内容は次のようになっています。

一、大嶋氏が江戸屋敷に勤務するための、奉公人の川辺からの派遣

一、水害による被害状況と堤防の修復工事

一、雄鳥川の大洪水による被害
一、栃井村の田畑冠水状況

一、川辺村民の京都・大阪警備のための長期出張

一、孝明天皇崩御(ほうぎょ)による川辺での正月飾り・音曲・普請禁止の御触れ

一、江戸在住大嶋氏子女の財政不足による化粧料の川辺からの送金

一、大嶋氏江戸屋敷の近火見舞金の川辺からの送金

一、幕府の長州(現在の山口県)遠征による軍用金四百両の川辺への割り当てと拠出方法

一、再度の軍用金割り当てに対する川辺での反対運動

一、大嶋氏財政ひっ迫による家臣団の減員と俸禄(給与)の半減改革の実態

中でも慶応四年(明治元年)の記録には鳥羽伏見の戦いで幕府側が敗走したこと、赤報隊(不良浪人の集団)が官軍の名のもとに、この地方にも侵攻す



このほど見つかった記録帳(手にしているのは矢嶋さん)Ⅱ町史編さん室で

るとの流言、官軍の先陣竹沢寛三郎が川辺に来村し、一日も早く朝廷側に帰順するようにと村役人を説得したことなどが記載されています。一方では、当時美濃一帯に流行した「ええじやないか」(官軍をたたえて、村々を乱舞した群衆)が、川辺でも流行したとあります。

川辺周辺の村々が、次々と朝廷側に帰順する中で、旗本領であった中川辺、栃井両村は、容易に態度を決めかねていました。領主の大嶋氏は常時江戸に住み家臣と庄屋などの村役人は、再三江戸の大嶋氏の来村をうながしたが、実現を見なかったのです。やがて時の流れにはどうすることもできず、朝廷側となる成り行きが克明に記載されているのが、慶応四年の記録です。

この七年間の日記風の記録には、幕末から明治に至るまでの多くの事件を取り上げながら一方では川辺を中心とした世相と村民の動向を描き、また領主であった旗本大嶋氏と家臣団、そして領民の混迷ぶりなどが記載されています。

いわばこの不安定な過渡期を、川辺の人々がいかに乗り切っていたかが、詳細に記録された貴重な史料といえます。

(町史編さん室)

前月号に引き続き「少年の主張大会」で優秀賞を受賞した下川辺の大竹幸江さん（三）川辺中二年の発表内容を紹介します。

題は「私の希望」。

私の家では、夕飯を食べてからいろんな話をします。

よく話すことは、学校の様子、私の小さい時のこと、お母さんたちの老後のこと、たまには兄のお嫁さんのことまで飛び出します。「どんな人が来るやろね、お父さんやお母さんを大事にしてくれるといいね」と話していると「まあ、まかしとけ」と兄は胸をたいて言います。

「うれしいこと言ってくれねえ、でもそんなこと言えるのはいまのうただけで大人になれば考えも変わり、じゃま者扱いするようになるわ」心配そうに言う母。私は「大



大竹幸江 (13)

＝川辺中2年＝

じいさんの世話をする人が必要になってきました。

当然、一緒に暮らしているお

丈夫、絶対そんなことしないで」と母を安心させるのです。だけれど心の中では、実際に大人になってみなければ分からないことだともあります。

ばさんが面倒をみることにになりましたが、おばさんがいなくなるとその家庭は、子供が学校へ行きながら家のことをやらなければいけないように

回しをされてみじめな思いをしているそうです。そんな老人は、家にも話しかけられないから、なんだか体の調子が悪いなあと思うとすぐ病院に行きます。それは、早く治りたいのと、老人同士友達をつくる一つの集まり場所にもなっていると思います。きっと寂しいんですね。

こんなことをなくすにはど

もっと老人に思いやりを

実はこんな話がありました。

私のおじいさんのことですが、八十三歳になるのに元気に家のまわりの草取りや、ゲートボールなどをしていました。夜中にトイレに行こうとして突然倒れてしまい、救急車で運ばれて行きました。病名は脳イッ血でした。それからというものは半身不随になり、一人で動くことさえできなくなっていました。毎日お

なりました。二三日のこと

ならいいけど一年間も続き、家庭もめちゃくちゃになったようです。おじいさんも「世話かけてすまんのう」と気を使いながら亡くなりました。ほかに老人が寂しい思いをしている話があります。それは、母に読んでもらった本の中のこんな話です。

うしたらよいのでしょうか。本の中にも、厚生省は老人福祉を充実させると言っているが、特別養護老人ホームは全国で七百四十カ所、人数にして五万五千四百十二人しか入れないのです。加茂郡には八百津に一カ所あると聞いています。

もちろん老人ホームの数が増えればこの問題は解決するわけではありません。けど家庭の事情で面倒をみれない人もいるし、独り暮らしの人たちにとっては大事な老人ホームなのです。なぜこんなみじめな老人が出てくるのでしょうか。いくら若い人でもいつかは年を取ります。私が年を取ってもやさしくしてほしい気持ちと同じです。

面倒みるのは 当たり前

老人は、私たちより先に生まれてきたのだからいろんなことを知っています。だからいろいろと教えてもらわなくてはならないことだってたくさんあります。それに今の社会をつくってきてくれました。だから、今私たちが面倒をみるのは当たり前です。でも、その当然のことをできない人がいるのです。

私は、自分の親にだけは本に書いてあった老人みたいに寂しい思いは絶対させたくありません。もっと老人に思いやりをもつて接することができたら、きっと心の通い合う明るい家庭、そして社会ができるのだと思います。

町内の 工場見学をして

No.2

作業する姿に感心



中川 辺

渡辺 みゆき (二四)

私は、Bコース（大豊製紙・濃飛タイル・マルモトフタバ・大丸・天龍工業）を見学してきました。

行く所、行く所、「暑い中、御苦労さんですね」と言われましたが、働いている人たちの方が、もっとたいへんだと改めて思いました。それぞれの仕事を

受け持ち同じことを能率的に作業している姿には、感心しました。

ある工場では、腕の不自由な人も普通の人と同様に働いてみえた。また、ある所では夏の暑い日も機械を止めず汗を流しながら頑張っておられた。

よく私は勉強したくない時に、働いているほうがよっぽどいいなどと軽く言いますが、こうして実地を見ると苦しい思いがします。

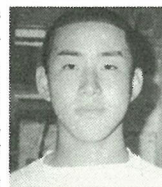
私たちは、学校でいろいろなことを学び考えますが、いつも違ったこと、新しいことを学習します。しかし、工場では一つの製品を大量に生産するために、毎日同じ作業をするようになっていくのではないと思います。

働くというのは真剣なことで、たいへんなことを誰しも経験しなければなりません。

私たちの夏休み中にこうして仕事をしている場を見たからこそ、よけいに働く人を偉大に感じました。

天龍工業でも、あんなに近くにありながらよく分からないことばかりだったのに見学させてもらい、そのほかの事業所も実地を見て知識を広めることができました。本当によかったと思います。

働くことは偉大なこと



西 柝 井

加藤 文 則 (二五)

八月五日、町内の工場見学があった。はじめは暑いのにわざわざ工場見学なんてやらんでもいいのにと思っていたが、いざ工場を見てみると、どの人も一生懸命やっていた。

働くということは、辞書には活動する、作用する、仕事をすることを学ばされた。まさにそのとおりでした。どの人も体の一部が動いていて、どこも動いていない人は本当にいませんでした。

仕事をしている人は汗が出ていて、自分の受け持った仕事はまじめにやっていて感心しました。僕たちも大人になったら、

こういうことをしなければいけないなあと思うようになりました。

いま僕たちのやっている勉強、それは投げ出してしまえばそれだけで自分自身が損をすることしかし仕事というのはそんなわけにはいかない。投げ出してしまえばほかの人の迷惑になってしまう。勉強と仕事とはこんなところの違いがあるのではないかと思います。

最後に、働くということは偉大なことだと思いました。働くということは遊び半分ではできないことだと思いました。

働くには辛抱が大切



中川 辺

後藤 裕 子 (二四)

「町内の工場見学をしてどうするの？」なんて初めは思っていたものの、見学しているうちにそんな考えはどこかへ消えてしまったようだ。

各工場で働かれる人たちは、みんな真剣そのものだった。自分の受け持ちの場で黙々と働かせる姿を見て職を持つ人はいへんなんだと改めて痛感し

ミニ・ニュース

孫と一緒にフオークダンス

第一保育園では九月十日、敬老の日に先がけ「敬老の日の集い」を開きました。

この集いは、孫たちと一日を楽しく過ごしてもらおうと開かれたもので、町内外からお年寄り約百十人が参加、体操やフオークダンスなどで園児たちと一緒に楽しみました。写真。

園児たちは全員で「おじいさん、おばあさんきょうはありがとう、長生きしてね」とお礼を言い、このあと給食室のおばさん手作りの鬼まんじゅうを食べ大喜びでした。



ぞうきんを 寄 贈

鹿塩の則武千枝子さん(六五)からこのほど、西小にぞうきん百枚が届けられました。

今年も多彩な秋の催し

11月には産業文化祭が

た。
私が見学した五つの工場の内
で、心に残ったものは濃飛タイ
ルと大丸工場だった。
まず濃飛タイルでは、タイル
を焼いたりするからとても暑か
ったこと。通るだけでも汗が出

てくるというのにその受け持
ちの人は、汗でグショグショに
なってしまう。そんな所で働い
ていくには辛抱が大切なのでは
ないかと思つた。
次に大丸工場では紳士服を造
っていたが、従業員の人はやは

り女の人が多くミシンで仕事を
されていた。私たちの目から見
ればいかにも簡単そうに縫って
いたが、少し間違えば手まで縫
ってケガをしてしまいそうだ。
工業用ミシンは特に恐ろしそ
うだと思つた。だから、従業員

の人たちは神経を一点に集中さ
せ気を配りながら仕事をやらな
ければいけない。本当にえらい
なあと感じた。
世の働いてみえる人たちに
苦勞様と言いたいような気持ち
になった。

このぞうさんは、則武さ
んの手作り。「孫たちがお
世話になります」と寄贈し
たものです。

婦人会が 長寿祝う

上川辺の御座野地区婦人
会（坪内嬉子会長）はこの
ほど、地区内のお年寄りを
御座野クラブに招き長寿を
祝いました。

このお祝い行事は、地域
のために尽くしたお年寄りに
感謝し、長生きしてもら
おうと行ったもので、招か
れたお年寄りらは会員手作
りの料理を食べながら民謡
や歌などで一日を楽しく過
ごしました。写真。

また、長寿を祝つて同地
区内に住む松島修治さん（三
九から座布団、長谷川いづ
子さん（五三から靴下カバー、
御座野押し絵会（武市郁子
会長）から押し絵がそれぞれ
プレゼントされ、お年寄
りたちは大喜びでした。



昨年の町民運動会

川辺中グラウンドで

10月16日

町民運動会

第十三回町民運動会が十月十
六日、午前八時半から北小校庭で

10月30日

おバカさん

当町ではおなじみの「すわ
ら劇団」が公演します。
昭和二十七年、八年頃の東京が
舞台で、主人公はバカではない
けれどバカみたいに見える一人
のフランス人です。

何の目的で日本へ来たのかも
わからぬ彼は、一匹のやせたの
ら犬とともに東京の裏町をさま
い歩く。彼は行く先々でバカに
され、暴力におびやかされる。

◇公演場所 中央公民館大ホ
ール

◇公演時間 昼の部 午後一時
半から 夜の部 午後七時半から

◇入場料 前売券 大人千円

11月19・20日

産業文化祭

秋の祭典、町産業文化祭が十
一月十九、二十の両日、中央公
民館など四会場で開催されます。
工業製品・農産物の展示はも
ちろん、毎年にぎわっているミ
ニ商店街や芸能大会なども開か
れます。ご家族そろってお出か
けください。

▽中央公民館 工業展示コー
ナー・農産物展示即売コーナー！

芸能大会・健康展など

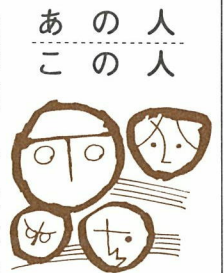
▽結婚式場 盆栽展

▽商工会館 生花展

▽川辺中体育館 一般作品展

このほか、映画会やカラオケ
ショーなども企画されています。
くわしいことは、中央公民館事
務局まで。





あ の 人
こ の

加藤正明くん 岐阜市で開



かれた「第十二回新聞少年感謝の集い」で優良新聞少年として川辺町長賞を受賞しました。(13歳・福島)

平野涓二さん 九月十一・

十二の両日、西極井の町囲碁会所で行われた五十八年度町本因坊戦(町囲碁愛好会主催)で、挑戦者の勝村伸良五段格を二勝一敗で破り、二年連続本因坊の座につきました。(50歳・比久見)

山田智香さん このほど下

麻生の加茂郡教育研究所で開

かれた小中学生の科学作品展に「だんご虫の観察」と題して出品。みごと金賞を受賞しました。この作品展は、動物の観察など夏休み中の自主研究の成果を発表するもので、郡内三十二の小中学校から合わせて二百三十三点の出品がありました。(9歳・福島)

そのほかの受賞者は次のみなさん。(敬称略)

【小学校】▽銀賞 遠藤竜

太(西小二年) 高井和孝(東小四年)

【中学校】▽金賞 山田博

子(一年) 村山美由紀(二年)

▽銀賞 成瀬修子(一年) 井

戸光俊(二年)

【敬称略】



日中濃体育館で開かれた可茂地区中学生卓球新人戦で

優勝。このほど岐阜市で行われた県大会では堂々八位に入賞、十一月に愛知県で開かれる東海大会への出場権を獲得しました。(13歳・中川辺)

そのほか、可茂地区卓球新人戦の入賞者は次のとおり。

(敬称略)

▽三位 高橋宏幸(鹿塩)

▽ベスト八 加藤正明(福島)

中川克子(下麻生)

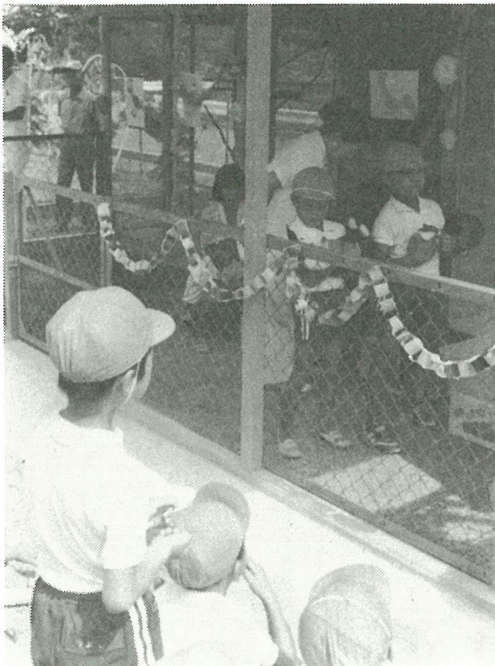
ボクにも触らせて

北小に飼育小屋が完成

北小にこのほど、りっぱな動物飼育小屋が完成、ウサギや小鳥なども入れられ、子供たちは大喜びです。

この飼育小屋は、同小PTA(木村兼信会長)が廃品回収などの収益金で造り、動物観察など教育に役立ててもらおうと贈ったものです。小屋の大きさは約二十平方メートル。鉄骨造平屋建てで基礎はコンクリートになっており、りっぱなものです。

九月十日に行われた飼育舎受



飼育小屋へ動物を入れる児童ら＝北小校庭で

を渡しました。鈴木玄二児童会長は「僕たちは飼育小屋が欲しかった。どうもありがとう」とお礼を述べました。

小屋へは、同PTA会員からプレゼントされたジュウシマツなど小鳥約七十羽、チャボやキンケイなどニワトリ七羽、美

濃加茂市立山手小から贈られたパンダウサギなど五匹が入れましたが、見守っている児童らは「僕にも触らせて」と大はしゃぎでした。

井戸均校長は「子供たちが責任を持って飼うことにより、思いやりの心を育ててもらいたい」と話していました。

小学生が熱戦

可茂地区少年柔道大会

第一回可茂地区少年柔道大会が九月十一日、御嵩町公民館で行われ、小学生が気合いの入った熱戦を展開しました。

町からは、スポーツ少年団柔道部(富樫智部長ら二十五人)



優秀な成績を収めた柔道部

が出場。個人の部で優勝するなど優秀な成績を収めました。

成績は次のとおり。(敬称略)

【個人低学年の部】▽優勝

長山武士▽三位 浅野仁志

【個人中学年の部】▽二位

杉山尚久

【団体の部】▽三位 低学年チーム、中学年チーム

＊ まちかど



井上奈美ちゃん(4歳) 英美ちゃん(2歳) = 中川辺
(史明さん・ちよ子さん長女・二女)

元気で

運動会を楽しむお年寄りら
ら山楠公園グラウンドで

お年寄り大ハッスル

福寿大学が運動会



第一回福寿大学運動会が九月八日、午前九時から山楠公園グラウンドで行われました。

最近、健康づくりを兼ねた老人のスポーツに対する関心が高まってきたことから、安田朗会長が計画、町教育委員会の協力を得て開かれたものです。

参加したのは、八十三歳から六十八歳までのお年寄り約百二十人。安田会長から「きょう一日を健康とふれあいのために思いきり楽しもう」とあいさつがあり、そのあとゲートボールやパン食い競争などを楽しみました。プログラムは、すべてお年寄り向きに組まれ、みんな大ハッスル。各ゲームは得点を競うことなくゆつくりしたペースで進

められ 一人の脱落者もなく無事に終了しました。

日中は残暑があるとはいえ、もう秋の空。参加者たちは「ああ楽しかった」とさわやかな汗を流していました。



優勝したスマイルⅡ
下麻生グラウンドで

スマイルが 優勝飾る

さつき杯ソフト

町ソフトボール協会(加藤喜久男会長)主催の第四回さつき杯争奪家庭婦人ソフトボール大会がこのほど、川辺中グラウンドで九チームが参加して開かれました。

九月五日の決勝戦には、パンサーズとスマイルが進出。2点を先取されていたスマイルは五回裏、ついに逆転に成功、本大会二度目の優勝を飾りました。

成績は次のとおり

①スマイル②パンサーズ③フ
アイターズ

鶏団子の 照り煮

【材料(五人分)】鶏肉ミン

チ三百グラム、タマネギ二分の一
個、卵一個、かたくり粉大さじ一、しょうゆ大さじ二分の一、しょうが汁小さじ二、調味料(だし汁三分の一カップ、しょうゆ大さじ一杯半、みりん大さじ一、砂糖大さじ二)シシトウ十五本

【作り方】①タマネギはみ

じん切り、ひき肉に卵を入れてよく混ぜ、タマネギ、かたくり粉、しょうゆ、しょうが汁を加えてよく混ぜます。②ボールに調味料を混ぜあわせて

今日の 料理



おきます。③シシトウは串で穴をあけ、油少々熱したフライパンでいため、取り出しておきます。④フライパンに油を適宜入れ、①をスプーンで

とって両面をキツネ色に焼きて②を入れ、肉団子に火が通り、汁つけがなくなるように照りをつけ、煮てから器に盛ります。⑤③のシシトウを①の残りの煮汁の中で味をからめ、肉団子に添えます。一見和風ハンバーグのようですが、鶏肉を使っているため、お年寄りにも幼児にも適していると思います。また、酒の肴(さかな)としても目先が変わっていいですよ。

募 集 し ま す

看護専門 学校 生

県立多治見看護専門
学校では、五十九年度
学生を募集します。

◇募集人員 三十五
人

◇修業年限 3年

◇受験資格 高校卒
業者（来年3月卒業見
込みを含む）

◇願書受付期間 12月1
日から1月7日まで（当日
消印有効）

◇願書提出先 封筒の表
に「願書在中」と朱書して
〒507多治見市前畑町五
丁目一一一五、県立多治
見看護専門学校へ

募集要項、受験願書希望
者は、返信用封筒に郵便番
号、住所、氏名を記入し、
切手百二十四分を同封して
同校へ申し込みください。

幸 報 苑 の 入 所 者

山県郡高富町に開苑され
た重度身体障害者授産施設
県立「幸報苑」の入所者を
募集しています。

この施設は、重度の身体
障害者の人に施設内で職業

おし
らせ



税



★お酒や品物にかかる税金

間接税は、商品の価格の中に税
金が含まれているため、どんな
品物にどのくらいの税金が含ま
れているのかご存じない人もお
られることでしょう。

そこで、間接税の中の主なも
のである酒税と物品税のあらま
しについて説明しましょう。

酒税は、清酒、ビール、ウイ
スキーなどの酒類にかかる税金
で、主な酒類の酒税負担率は次
のとおりです。

清酒一級二四・五%、ビール
四七・八%、ウイスキー一級四
〇・二%などです。

物品税は、宝石類や貴金属製
品、ゴルフ用品、自動車、ピア
スなど比較的ぜいたくな装飾品
や嗜好品などにかかる税金で、
品物によって一〇%から三〇%

の税金がかかります。

★税金の納付期限などが第2 土曜日の場合は翌週月曜日に

今年8月から、税金の納付期限
や納税申告書の提出期限などが
その月の第2土曜日になる場合
は、日曜日や国民の祝日その他
一般の休日の場合と同じように
その期限が翌週の月曜日まで延
長されました。

これは、毎月の第2土曜日は
銀行などの金融機関が休業し、
また、郵便局の窓口業務が行わ
れなくなったことによるもので
す。

この結果、例えば、源泉所得
税の納期限は通常、翌月10日
ですが、この日が第2土曜日に
当たるときは、その翌々日の12
日が納期限となります。

くわしくは、最寄りの税務署ま
たは税務相談室にお尋ねくださ
い。

相談



★特設人権相談所の開設 次

のとおり相談所を開設しますの
でお気軽にご利用ください。（相
談無料、秘密厳守）

▽日時 12月7日（水）午前10時
から午後3時まで

▽相談場所 役場会議室

▽相談内容 夫婦の問題、親
子の問題、土地の問題、借地・
借家の問題、相続の問題、登記
の問題など

▽相談の担当者 町人権擁護
委員二人、岐阜地方事務局職員
一人

募金



★赤い羽根募金運動にご協力

を「やさしさを隣人に」で
親しまれている赤い羽根募金運
動が今年も10月1日から始ま
り、町では、みなさんのご協力
を呼びかけています。

この運動は、みなさんのあた
たかいご協力により成り立って
いるもので、社会福祉や社会保
障制度の推進に大きく役立つて
います。

私たちの住んでいる社会には、
独り暮らしのお年寄りや体の不
自由な人たちがたくさんおられ
ます。それらの人たちが少しで

も幸せになれるようお互いに
助け合って明るい町にしましょ
う。

募金のお願いは、各自治会を
通じて行いますが、ことしの目
標額は羽根一本につき三百円程
度。10月中旬に納入くださるよう
お願いいたします。
くわしいことは、役場住民課
まで。

山林



★入山は所有者の許可を受け

てから 最近、ハチ取りやシキ
ミ取りのために他人の山林へ入
る人が増えています。それに伴
い樹木の伐採による被害や、花
火の使用による火災の危険性も
高まり、所有者とのトラブルも
年々増加しています。

入山者は、前もって所有者の
許可を受け、むやみやたらに大
切な樹木を伐採したり傷つけた
りしないよう注意してください。

国保



★被保険者証を更新

今年11
月30日で、今使っている被保険
者証の有効期限が切れます。そ
こで、新しい被保険者証を11月
中旬に区長さんを通じて配りま
すから、古い被保険者証と引き
換えに受け取ってください。新

技術を身につけ、自活していただくためのものです。
授産科目は、縫製加工科、軽作業科の二科で、操作が簡単にできる自動糸切りミシンをたくさん配置するなど、いろいろ配慮してあります。
入所に関する問い合わせは、可茂福祉事務所または県福祉課へ。

しい被保険者証は、手元に届いたその日から使用することができま

衛生



★生ゴミの提出は午前8時半までに 9月21日から生ゴミ(燃えるゴミ)の提出時間が変わり、収集日の午前8時半までに提出していただくことになりました。提出時間を守って収集もれが

電話



★来年1月中旬から市外局番が統一されます 来年1月中旬から美濃加茂単料金区域内(白川・東白川を除く可茂地区)の市外局番が統一され、同区域の通話が便利になります。いままで、同区域内の通話は

くつになつても適度の刺激が必要なのです。また、いくら寝込まず長生きであつてもボケてしまつてはいけません。

最近、朝早くからゲートボールに熱中しているお年寄りを見かけます。毎日通っている人たちは顔色もよく生き生きして見え、体を動かすというだけでなく心の健康にもいいようです。どの人にも無理せず続けられるという点では

保健だより



よいスポーツでしょう。

平均寿命は男は七十五歳、女は八十歳に近づき、なんらかの職を持っている人でも定年後二十年近く過ごされることになりま

感動はボケの予防 声を出して脳の刺激を

り、読書が趣味というだけではどうも予防にはならないようです。しかし、手紙を書いたり、日記をつけたり、声をあげて朗読したりしている人はボケることが少ないと言われています。声を出すことは脳の刺激しボケを予防しているの

ボケる可能性も多くなります。寝込む原因は脳卒中に限りません。若いうちから病気があれば早期に治療し、充実した毎日を過ごせるよう、熱中できるものを見つめま

い、読書が趣味というだけではどうも予防にはならないようです。しかし、手紙を書いたり、日記をつけたり、声をあげて朗読したりしている人はボケることが少ないと言われています。声を出すことは脳の刺激しボケを予防しているの

いちいち市外局番を回さなければならぬ不便でしたが、これが実施されますと同区域

内市外局番は「0574」に統一され、同区域内の通話は市外局番なしでつながるようになります。

概要は次のとおりです。

◇実施予定 来年1月中旬(日時は未定)

◇実施区域 美濃加茂市、可児市、加茂郡(白川町、東白川村を除く)可児郡、瑞浪市の一部(御嵩局の電話に限る)

◇内容 区域内の通話は、市

おめでた おくやみ

(8月中の届け出)

【出生】 上から住所、出生

児、父親、続柄の順
上川辺 佐伯 里美 清志 長女
中川辺 田原 妹依 美友 長女
中川辺 小川 孝志 勝昭 二男
福島 山田 知美 孝文 長女
福島 二村 明賢 和重 長男

【結婚】

上川辺 村瀬 和子
美濃加茂市 小川 勝彦
下吉田 馬場 春雄

【死亡】 上から住所、死亡

者、年齢、世帯主の順
石神 平岡 達也 23歳 昭
中川辺 渡辺 叶子 51歳 義美

内局番(2ケタ)と電話番号(4ケタ)をダイヤルすることになります。したがって町外への通話では、いままで10ケタをダイヤルしていたのが6ケタに短縮され、町内への通話では4ケタが6ケタにと逆に長くなるわけです。なお、電話番号や通話料金はいままでどおりです。

◇問い合わせ 美濃加茂電報

電話局(05742・5・2950)可児電報電話局(05746・2・1441)七宗電報電話局(05744・8・1042)

おわびと訂正

広報九月号の四ページ「新議員の顔ぶれ」の欄で、「馬場亭」とあるのは「馬場亭」の誤りでした。おわびして訂正します。

町史編さん室だより



— その94 —

磬 子 (2)

金昌寺磬子(上川辺)

天保六乙未暦二月吉祥日濃加賀郡上川邊村檀家中寄進桂久山金昌寺什物住持玄守代政之金昌寺の磬子(けいす・けいし)は、天保六年(一八三五)のものである。

長昌寺磬子(鹿塩)

濃州賀茂郡鹿塩村月桂山長昌禪寺什物 施主惣檀中現住金威代寛政十一庚申六月日求之長昌寺の磬子は、寛政十一年(一七九九)のものである。

善教寺磬子(比久見)

文政六年 未十五年 講連中 廿人 金竜子造 善教寺の磬子は、文政六年(一八二三)のものである。

妙楽寺磬子(比久見)

加茂郡比久見村妙楽寺

嘉永七年寅年

詞堂悟岩鐵心居士

馬場次左衛門父

善界良應菴主

山田淺右衛門父

轉堂境心居士

貴嶽妙富大姉

細田庄三郎父母

鐵道良心菴主

山田伊兵衛父

快雲良哉居士

小森喜藏父

離芳童子 山田菊次良子

右各靈金貳分ツ、入

現住 豁堂代

妙楽寺の磬子は、嘉永七年(一八五四)のものである。

龍洞寺磬子(比久見)

濃州路加茂郡米田莊比久見村 寄附千虎丘山龍洞禪寺 同郡 和知村遠藤傳右衛門施主 天明三癸卯小春日 龍洞寺の磬子は、天明三年(一七八三)のものである。

常善寺磬子(下吉田)

濃州賀茂郡下吉田邑慶養山常善禪寺什物 施主當村檀方并 他檀中 惟時文政六癸未歲七月吉辰 常善寺の磬子は、文政六年(一八二三)のものである。

娘からみた父親



娘からみた場合、同性の親である母と異性の親である父とはかなり違うものです。娘からみて父親は、多くの場合身近に接した最初の異性で、男とはどんなものかを父親を通して知ることが多いのです。成長するにつれて、お父さんが好きで、この父親のような男性と結婚したいと思うようになることもあれば、うちの父親のような人だけでは一緒に暮らしたくないという娘

娘がまだ幼いころ、外の社会の出来事をおもしろく話してくれたり、女の子であることを認めて愛してくれると、娘は父親に親しみと敬意をもてる影響は大きいのです。

これに対して、「女はしょうがないものだ」という式の偏見をもっていたり、横暴で不法な態度を示していると、次第に嫌われるようになります。母親と娘との関係は密接なので、母親はよく自分の夫のことを娘に話します。そして、その内容が肯定的であるか、否定的であるかにより、娘の父親観は影響されるのです。父親と母親の仲がよく、母が父を愛し、尊敬していれば、娘もまた父親に愛情と敬意をもつようになります。

中学生の川柳

家恋うる思い切なき奇立ちも
今は素直に癒ゆるを待てり
横山 寿子

修学旅行親から離れて楽しい日

伶俐なりし大と散歩のこの道に
思い出いくつ春夏秋冬
神田 繁子

佐伯 明美

炎天に動く葉もなし除草の手
拳に替えて汗をぬぐえり
佐合 武

江口 孝広

分譲地の看板立ちたる草原に
はや風は秋蜻蛉群れとぶ
赤坂富美子

高木 夕子

垣間なる風鈴の音を蚊張に受け
孫は正しき寝息たており
松岡 久美

高木 誠

灼熱の午後の陽受けて褐色に
紫陽花の花素枯れたるまま
肥田 節子

高谷 健

必勝の策をめぐらす終盤に
太い息すれば秋虫の鳴く
紅谷 茂

桜井 美保子

炎天下エンジン全開若き等は
レースとなして国道を飛ばす
遠藤 正枝

大脇 伸子

透くるまで薄き花弁は陽をうけて
芙蓉の大輪今盛りなる
遠藤 豊

日下部 一恵

■わたしたちの作品

夏は冬冬には夏を恋しがり
茶柱がたつか湯のみをじっと見る
大脇 伸子

テスト中消しゴムばかり減って行く
デパートで値段を聞いてすぐ帰る
高谷 健

朝寝ぼう目覚し時計に腹をたて
かぜひくとみんながやさしくしてくれる
高木 夕子

魚釣りやぶ蚊にさされて逃げかえる
江口 孝広

今素直に癒ゆるを待てり
横山 寿子

家恋うる思い切なき奇立ちも
今は素直に癒ゆるを待てり
横山 寿子